

# 環境意識高く

## エコドラ徹底

### 幸楽輸送

幸楽輸送(関本康夫社長、札幌市清田区)は2006年11月にグリーン経営認証を取得した。併せて、札幌市独自のエコ認証制度である「さっぽろエコメンバー」で最もレベルの高い「レベル3」にも登録している。

環境保全への意識は高く、環境負荷の低減の具体的な取り組みを多岐にわたって実施している。

デジタコとドラレコを全車両に導入することでエコドライブを徹底しており、2009年4月からはエコタイヤをトラックター、トラレーラ合わせで約90台全てに導入した。また、冬期間のアイドリング・ストップ徹底のため、ベバストヒーターを使用。このほか、燃料改質器の

導入も検討している。これらは全て燃料コストと、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながっている。

同社は昨年6月から、バイオディーゼル燃料を5%混合した軽油(B5燃料)の使用をはじめた。札幌と帯広の拠点間輸送を行う大型トラレーラに活用し、さらなる環境負荷の低減活動を行っている。関本社長は「これだけの取り組みを行っているのは、道内でも、それほどないはずだ」と話している。

(玉島雅基)